

臨床検査専門科目	病因・生体防御検査学					
		1単位	演習	平成30年度	前期	2年次
臨床検査学科	必修					
科目名	免疫検査学 Immunology					
担当教員	◎畑中徳子 増谷 弘 学内教員					
目的	免疫学的検査の意義を学ぶために免疫の仕組みや抗体等の構造を理解し、免疫検査の項目と方法を知る。					
目標	1) 正確な免疫学的検査法を実施するために免疫防御や組織・細胞の関連を理解できる。 2) 抗原抗体反応の機序、測定法の原理、免疫学的検査法の種類を理解できる。 3) 各検査法の測定意義や免疫疾患への応用範囲について理解できる。					
他科目との関連	免疫検査学(実験・実習)、輸血・移植検査学、輸血・移植検査学(実験・実習)、病因・生体防御検査学特論、感染とその防御、体のしくみと疾病の成り立ちV					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験点数。				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	最新臨床検査学講座免疫検査学（医歯薬出版：ISBN978-4-263-22369-7）					
参考資料	配布資料、新版臨床免疫学(第3版):宮坂信之他著, 講談社サイエンティフィク 臨床検査技術学13「免疫検査学」(第3版):折笠道昭他著, 医学書院 わかりやすいアレルギー・免疫学講義:扇元敬司著, 講談社					
備考 (受講上注意、 事前学習等)						